

ゆうあい通信

2018年1月（第七号）



【理念】

人の心を大切に、
皆様に安らぎと感動を提供することが、
私たちの使命です。

【基本方針】

- ・利用者様の尊厳を守ります。
- ・安全を最優先します。
- ・質の高い介護サービスを提供します。
- ・地域社会に貢献します。

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。



世の中、少子高齢化が進み、ますます介護施設の役割が重要となっています。ゆうあいの里大同は、「介護の質の向上と安定した経営」を目標に、地域社会に信頼されるよう努めてまいりました。概ね目標は達成できていると考えますが、時間を懸けないとできない課題も数多くあります。

今年はひとつひとつの課題を明確にし、対応を考え、地域の人たちに誇れる施設の完成を目指します。その為には、職員の努力はもとより、入居者・ご家族のご支援を必要としております。よろしく申し上げます。皆様が輝ける一年になることを祈念し、新年のご挨拶といたします。

ゆうあいの里大同 理事長 寺境 博子

インフルエンザ発症ゼロを目指して



例年、インフルエンザの流行は、12月～2月にピークを迎えるため、11月中にはインフルエンザワクチンの予防接種を済ませておく事が望ましいと言われております。当施設でも毎年11月に、入居者及び職員にインフルエンザワクチンの予防接種を実施しています。

しかし、予防接種をしたからといって、絶対に罹らないわけではありません。当施設では、インフルエンザ発生ゼロを目指し、以下のような対策を行なっています。

①手洗い・・・職員の手洗い、アルコール消毒を徹底するとともに、入居者に対し毎食前の石けんを使用した手洗いの徹底。

②加湿・・・施設内の湿度が40%以上であれば防止できるとの情報もあり、適時換気を行うと共に、各フロ

アーに大型加湿器を設置し本格稼働。

③体調管理・・・体力・抵抗力低下防止の為、十分な食事や水分・睡眠の確保に努め、異常を早期に発見できるよう毎日の検温、状態観察を細かく実施。また、職員も体調の自己管理に努め、始業開始時には「体調報告」の実施。

④マスクの着用・・・受診等で外出の際や、ご家族の面会時には、感染予防(施設内へのウイルス侵入予防)の為、「マスクの着用」の依頼。

今のところ発症者はゼロですが、本番はこれからです。全員の力で、「インフルエンザ発生ゼロ」を目指します。

面会時の「マスクの持参」を重ねてお願い致します。

施設内の食事について

年を重ねるにつれ、食べ物を噛む力や飲み込む力が衰えていき、楽しみである食事が原因で窒息や肺炎等を起こしてしまう事があります。当施設では一人一人が安全に食事を召し上がっていただけるよう、様々な形態の食事を提供しております。

例えば歯で食べ物を噛みきれないが、飲み込みが問題の無い方には細かく刻んであんを絡めて食べやすくした刻み食、飲み込む力も噛む力も低下してきている方にはなめらかで飲み込みやすく歯茎でつぶすことのできるムース食というように、医師や看護師、管理栄養士や介護士など多職種で検討を行い、その方

合った食事の提供を行っております。

また、ブリの解体ショー・まんじゅう作り等の、入居者が実際に見て作って体験できるような食事イベントも毎月行い、お正月・ひな祭り・七夕・クリスマス等には行事食を提供し、食事で季節を感じ、四季の味覚を味わっていただけるようにしています。



高齢者の皮膚について

高齢者の皮膚は、加齢に伴い皮脂の分泌が減少し、保水力も低下するため乾燥しやすくなります。皮膚が乾燥すると、きめが粗くなり、細菌やほこりなどから体を守るバリア機能が低下し、湿疹や痒みが起こりやすくなります。また、皮膚が薄くて血管が脆いため、少しの衝撃でも内出血を起こしてしまいます。当施設の入居者も、特に冬場は乾燥による痒みを訴える方が多く、乾燥肌への対策として、入浴直後の肌が潤った状態のときに保湿剤(ワセリン)を塗布し、皮膚の保湿に努めています。皮膚を保湿することで痒みが軽減されるため、皮膚トラブルを予防する効果が期待できます。

また、腕や足をぶつけて内出血を起こさないよう

に、移乗介助時等には手足の位置に十分注意し、ベッド上で体動の激しい方には柵カバーを着ける等の対応を行っていますが、内出血の多くは、職員が知らない間にできていることも多く、発生をゼロにすることは難しい現状です。そのため、小さな内出血や皮膚の異常を早期発見できるよう、入浴の際には、必ず全身の皮膚観察を行い、職員間で情報を共有し、より安全な介護に努力しています。



一つ屋根の下で

当施設は、平成13年に開所し、個室と相部屋の両方がある施設です。

個室はプライバシーが確保でき、居室外の音も遮断されるメリットがあります。相部屋は同室者との触れ合いがあったり、個室と比較すると費用が低い特長があります。

当施設の定員は100名で、そのうち24床(名)が個室、残りの76床(名)が相部屋です。

入居される方みなさんに、希望通りの居室をご案内したいのはやまやまですが、止むを得ず別のタイプの居室をご案内することもあります。また、希望通りの居室に入居した後でも他入居者の体調等により、居室を変わっていただくことも少なくありません。

性別や年齢、身体機能、出身地、持病等の違う方々100名が一つ屋根の下に住んでいるので、居室の割り振りは大変難しいところです。

職員は、入居者の日常の様子をよくみて、どの居室を利用していただくより安全で快適な生活をしていただけるのかを考えます。

入居していただいた方全員に、「ゆうあいの里大同に入居して良かった」と思っていただけのように、努めて参ります。



防災訓練

11月27日に施設の定期防災訓練を行いました。今年10月から、火災報知機を押すと自動で消防署へ連絡が行き、そのまますぐに消防車が駆けつけるという体制に変更しました。その体制になって初めての防災訓練ということもあり、訓練中誤って消防車が来てしまわないかという緊張も持ちながら臨んだ訓練となりました。

夜間帯に関わる職員全員を対象に、施設で取り決めたマニュアルに沿って行動する事が出来るよう、火災発見時の対応から初期消火、職員間の連携、入所者の安全確保及び誘導や消防署への連絡などの、

まずは火災を起こさないという事を第一に考えていきますが、仮に何かがあった場合にも入居者の安全を守る事が出来る様、今後も定期的に防災訓練を行っていきます。



(10～12月の)行事風景

10月 秋の外出「買い物」
名古屋市老人ホーム動会
秋刀魚イベント
大同オーケストラ



近くのスーパーでお買い物。昔を思い出し、楽しくお買い物されていました。



寒い季節に食べる熱いおでんは、入居者の皆様に大好評でした。



葵幼稚園の園児たちが発表会にきてくれました。園児たちとのふれあいに、皆さん大変喜ばれておりました。

11月 焼き芋
おでん

12月 葵幼稚園お遊戯会
イルミネーション
クリスマスイベント
餅つきなど



年末恒例のお餅つき。ついたお餅で花餅を作り、施設に飾っています。

社員旅行で台湾に・・・十分に

出発日は小雨が降り、雨雲の中を進む飛行機は時折揺れ、緊張の中、台湾に到着しました。台北では時折小雨が降りましたが、概ね恵まれた天気の中、観光を楽しむことができました。

市街地から山道の中バスに揺られて進んでいくと、台北の郊外にある十分に到着します。

十分に天燈上げを体験しました。ランタンに墨で願い事を書き、空高くへと飛ばします。願いをのせて空高く上がっていくランタンを、感動と興奮を覚えながら見つめていました。



ゆうあいの里大同の入居者、ご家族、職員の幸せを願って上げたランタンが、無事願いを叶えてくれることを祈っています。また、その願いを成就できるよう、私たち自身も日々邁進していこうと、気持ちを引き締められました。

1～3月の行事等のご案内

写真は、昨年度の風景です。

今年もたくさんのイベント・行事を行いたいと思います。

- 1月 初詣、お抹茶会、鏡開き、
白玉ぜんざい作り
- 2月 節分、
寄せ鍋、恵方巻き
- 3月 雛祭り、ブリ解体ショー
ひなちらし、握り寿司、



入居者と一緒
に白玉ぜんざ
いを作ります。



節分には、職員
が鬼に扮して豆
まきを行います。



3月3日は雛祭り。
施設でもお雛様を
飾ります。

介護記録でのiPadの導入



介護現場では、毎日の体温や食事・排泄の状況は勿論、日々の生活の様子など、様々な記録を行っています。

従来記録の方法は、食事・排泄表に手書きで記入し、その後入居者一人一人のカルテに転記していた為、とても時間がかかっていました。

「記録にかかる時間を短縮し、入居者に係わる時間を増やしたい。」という施設の思いから、iPadの導入を決定しました。

iPadを導入することで、食事や排泄介助時に、その場で直ぐに記録ができ、記録(情報)が見たい時にも、その場で確認できるので、とても便利になりました。

今後も入居者の安全を第一に考え、向かい合う時間を少しでも多く持ち、より丁寧な介護が行えるよう努めてまいります。

ボランティア

昨年は3ヶ月に1度のペースで「感謝の会」の皆様にご謡曲のカラオケ演奏や日本舞踊などの披露をして頂きました。

カラオケ好きな入居者はもちろん昭和の名曲メドレーなど昔を懐かしむ音楽がダイルームに響き渡り一緒に歌いだす方も大勢おられ大好評なイベントです。

今年も定期的に「感謝の会」の皆様に来て頂き、歌謡ショーで盛り上げてもらいたいと思っております。



職員コラム

12月初旬に一足お先に冬休みの連休を頂き、高校生の頃から始めて20年、冬の唯一の楽しみであるスノーボードを満喫しに、嫁と2人で冬の北海道へ行ってきました。

今回は12月の初めであった為、さすがの北海道でも雪が無い状態で、出発の1週間前には旅行会社から「雪が無いけど本当に行きますか。」と連絡があったほどでした。しかし、祈りが通じ出発の2日前から大雪が降ってくれ、現地に着いた時には冬の北海道らしい白銀の世界が自分達を迎えてくれました。日常を忘れ朝から晩まで、北海道の大自然を感じながら極上のパウダースノーでのスノーボード、夜は冬の味覚を楽しみ、リフレッシュする事ができました。来年も行ける事を目標に仕事を頑張ります。

T.Y



編集後記

新年明けましておめでとうございます。連日寒い日が続き、布団から出るのが辛い朝が続いています。しかし、クリスマスやお正月といった、華やかなイベントが多いのもこの時期です。当施設でも様々なイベントを開催し、そこで入居者が楽しんでいる様子を見ると、寒さに負けないパワーを貰えます。今年も、更に入居者が快適に、充実した生活を送れる施設になるように、職員一同邁進していきます。そして、このゆうあい通信でその様子を発信し、皆様にお届けしていきますので、どうぞよろしくお願い致します。

K.H

ゆうあい通信 2018年1月(第7号)

編集・発行 社会福祉法人 大同福祉会 特別養護老人ホームゆうあいの里大同

〒457-8512 名古屋市南区白水町20番地 TEL052-612-3030(代表) FAX052-612-3076